

投資詐欺被害を防ぐ

中津川署 岐阜信金職員に感謝状

投資をかたる特殊詐欺被害を未然に防いだとして、中津川署は、岐阜信用金庫中津川支店の職員渡辺ゆかりさん(45)に署長感謝状を贈った。

渡辺さんは昨年12月25日、「リフォームローンのため」として500万円を振り込もうとする50代男性に支店窓口で対応した。請求書などがなく、振り込み先が遠方で個人名だったことなどから詐欺を疑い、上司



特殊詐欺被害を未然に防ぎ、感謝状を受ける渡辺ゆかりさん(左) 中津川署

を通じて署に通報した。

署によると、男性は交流サイト(SNS)で知り合った人物から投資話を持ちかけられていた。リフォームローンとしたのは相手の指示とみられる。ロマンス型か投資型の特殊詐欺とみて調べている。

署で贈呈式があり、渡辺さんは「最近では若い人も被害に遭っているので、高額なものは疑う気持ちで臨みたい。被害の減少につながるとうれしい」と話した。篠田高志署長は「おかげで被害を未然に防ぐことができた」と感謝した。(稲木悠司)